

施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	4	魅力的な都市環境づくり		
	施策	3	交通計画		

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 人と環境にやさしい持続可能な集約連携型都市の構築を目指し、自動車交通を円滑に処理する視点での道路整備だけでなく、公共交通による移動の利便性を確保するとともに、安心・安全な交通環境を創出し、鉄道、バス、自動車、自転車、徒歩など交通移動手段の適切な組合せによる交通体系の構築に向け、多様な主体の協働による交通まちづくりに取り組みます。

2. 令和2年度 of 取組内容及びその成果



- ・市民、交通事業者、行政等から構成する名張市地域公共交通会議において、平成28年度に策定した「名張市都市総合交通戦略」及び「名張市地域公共交通網形成計画」に基づき、市民の誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの検討を進めるとともに、コミュニティバス路線図の乗継拠点への設置、行先別時刻表を作成、配布など、公共交通利用を促進するための分かりやすい情報提供の取組等を進めました。
- ・コミュニティバス運行協議会、運行事業者等と構成する「名張市地域公共交通連携協議会」において、各路線相互の乗継時刻調整や乗継割引等の利用者目線に立った検討や各路線の運行の評価を行い、見直し・改善へとつなげていく取組を実施しました。
- ・過度な自動車利用から公共交通を利用する生活への転換を促すため、バスの乗り方教室の開催や各種イベントへのバス車両の展示やお絵かきバスの実施などを通じて、バスを市民の身近なものとする取組を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、各種イベントが中止されたことにより、実施することができませんでした。
- ・コミュニティバスにおいて、障害者の利用割合が年々増加しており、これらの方々にとり欠くことのできない移動手段となっています。各コミュニティバスにおいては障害者への運賃免除を行っており、これによる経営上の負担を軽減するため、減収分の一部の補助を実施しました。
- ・市民意識調査における交通環境についての満足度は42.9%と増加しているものの、満足度は低い応対にあり、地域によっては3割に満たない地域も見られます。また、自由意見の件数は全体の約15%を占め、交通に対する関心度は非常に高いものとなっています。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
公共交通など市内の交通環境に満足している市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	38.5	
	成果	36.4	37.3	38.8	42.9			100.0%
コミュニティバス「ナッキー号」の1日平均乗降客数(人)	目標	-	-	-	-	-	180	
	成果	173	178	180	149			0.0%
公共交通の利用促進に向けた啓発活動をした回数【延べ数】(回)	目標	-	-	-	-	-	30	
	成果	5	10	15	15			40.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・地域が事業主体となるコミュニティバスの運行経費は、市の支出による補助金及び運賃収入により賅われています。高齢者の免許保有数の増加や地域人口の減少などの理由により利用者は減少傾向にあり、これに伴い運賃収入も減少し、運行経費の不足は地域において負担しなければならず、将来的な運行の継続に支障をきたし始めている路線もあります。
- ・一方で現にバスを利用する方々にとっては重要な移動手段であり、また、高齢化の進展等に伴い運転免許証の返納者は、今後増加すると予測され、鉄道や路線バス、コミュニティバス、タクシーなど様々なモードが一体となった誰もが利用しやすい公共交通ネットワークを構築するとともに、利用者目線に立った分かりやすい情報の提供に取り組んでいく必要があります。しかしながら今後は、公共交通の利用自体が難しくなる高齢者が増加することも想定する必要があります。
- ・国津コミュニティバス「あららぎ号」は、現在使用の車両が既に走行距離数が27万kmを越えていることから、車両の更新を検討する必要があります。
- ・コロナ禍において、感染症の拡大防止対策として実施された外出自粛要請等により、すべての公共交通において、利用者が激減し、1年を通じ利用者が回復しない状況が継続している。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和3年度以降)



- ・利用者目線に立ったわかりやすい情報の提供に努め、主要バス停における行先別時刻表の設置、作成したコミュニティバス路線図の活用など、新規利用者の獲得、利用者の利便性を高めるための取組を引き続き実施します。
- ・イベントを活用した利用促進の取組は、感染拡大状況やイベントの実施の有無等により、可能なものがあれば実施することとします。
- ・市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」は、中型バス車両に変更することとし、新たな財政負担を抑えるため、専用車両ではなく委託事業者が保有する車両で運行します。
- ・バスをはじめとする公共交通での移動のみならず、福祉や医療等あらゆる移動手段との連携活用の検討、またコロナ禍による利用者の動向も含め、現状の把握等を行い、持続可能な地域公共交通サービスの維持による市民の移動手段の確保に向け、「(仮称)名張市地域公共交通計画」の策定に向け、地域公共交通会議において、協議を進めます。

施策を構成する主な事務事業

*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

*R2決算見込は、R1からの繰越額も含まれます。

*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	公共交通対策事業	都市整備部	都市計画室	交通不便地域において、地域コミュニティバス事業等の推進を図るとともに、コミュニティバス「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行を行いました。また、利用の実態の変化に対応するため、ナッキー号の車両の大型化の検討及びあららぎ号の運行計画の見直しを進め、令和3年度当初から実施しました。 名張市地域公共交通網形成計画に基づく事業及び、評価等を実施するための地域公共交通会議を開催しました。	23,878	19,805	26,670	22,314
一般	コミュニティバス運行補助金	都市整備部	都市計画室	地域コミュニティ交通推進方針に定める交通空白地域及び交通不便地域において、地域住民によって組織された運行協議会が実施する地域コミュニティ交通運営事業に対し運営補助や支援を行いました。また、コロナ禍の中、地域コミュニティバスの運行継続に対し、地方創生臨時交付金を活用した補助金の上乗せを実施しました。 (令和2年度実績) ・コミュニティバス運行補助金 4地域 ・コミュニティバス障害者運賃免除分助成金	13,406	9,686	12,450	12,450